

県民を苦しめる 民主・自民よりも 日本共産党の前進を



松下 ゆたか

元県議会議員

プロフィール

- 名古屋市出身、疎開先の三重県四日市の空襲で「九死に一生」
- 埼玉県立川越工業高校卒、近畿工業(株)、クラウン(株)勤務
- 1980年6月に党専従
- 1995年県議会議員初当選
- 現在、党さいたま地区委員会副委員長

日本共産党

北区のJAさいたま3支店(宮原・大砂土・日進)を訪問し懇談しました

TPP 参加やめよ

環太平洋
連携協定

住宅リフォーム助成制度を創設

一般家庭の耐震補強工事にも助成を実施します。

医療

- 75歳以上の医療費の無料化
- メデイカルセンターの跡地に病院建設を
- 大宮総合病院を公的病院として存続させ
- 24時間365日の小児救急医療体制を充実
- 国保への補助制度の復活。国保税引き下げ

雇用

- 高校生・大学生の就職説明会の充実
- 新卒者企業研修制度の拡充を
- ヤングキャリアセンターの拡充を

県有地を 活用し

- 保育所を建設し、待機児童を解消させる
- 特養ホームを建設し、安心できる老後を
- 県営住宅を建設し、笑顔あふれる町づくりを

川越線の全面複線化・荒川鉄橋を

架け替え風に強い川越線の実現

交通信号機を増設し、安全な街に

●ニューシャトルのすべての駅にエレベーターとトイレの設置を

東日本大震災で被災されたみなさんに心からお見舞い申し上げます、救援に全力をつくします。

3面に
救援募金
のお願い

●3月14日、被害救援でさいたま市に「緊急申し入れ」しました。

いっしょに頑張ります



市議会議員

神田よしゆき

ブログ

松下ゆたか

検索

松下ゆたか自宅 北区宮原3-125-1

新さいたま

2011年3月号外 発行●日本共産党さいたま地区委員会

さいたま市大宮区天沼町2-657-1 ☎048-641-1561 FAX 048-641-1734
日本共産党さいたま地区委員会の見解を紹介します

くらしが大変ないま 県民に役立つ人

「防ひょうネット」に 補助金を実現

4年前の夏、北区から上尾市にかけて大粒のひょうが降り、大きな被害が発生しました。松下ゆたか元県議はただちに県と交渉し、ひょうの被害を防ぐためのネットに補助制度を実現しました。

川越線に風よけ フェンスを設置

川越線は風速20kmで徐行、25kmで電車を止めていました。荒川にかかる鉄橋が横風を受けて危険だからです。松下ゆたかさんはただちに県議会で質問し、JRとの折衝で「風よけフェンス」が設置されました。根本的な解決には荒川鉄橋の架け替えが必要です。そのために全力をつくします。

3つのマンモス校改修に 国が3億4千万円を補助

旧大宮市の三橋、日進、大砂土東の3小学校がマンモス化。文部省は「改修費用は出せない」と難色を示しました。松下ゆたかさんは文部省とかけあい、3億4千万円の補助を実現しました。

松下ゆたか元県議を

北区から三たび県政に



埼玉県で初めての 「地下河川」を実現

切敷川は川幅が狭く、住民は大雨のたびに床上浸水で苦しんできました。松下ゆたかさんは県議のとき、水害解決のため地下河川方式を提案し、これによって工期を短縮し、経費も少なくなりました。住民の立ち退きなしの改修ができました。

宇都宮線・高崎線の東京駅 乗り入れで、税金40億円を節約

JR宇都宮線・高崎線は2年後に東京駅に乗り入れ横浜方面に直行します。JRは建設費の半分を自治体に要求しました。松下ゆたかさんは県議のとき、JR本社に要請行動を行い、沿線自治体の負担をなくしました。その結果、埼玉県は40億円が節約されました。

日本共産党

